

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 9 組

教科担当者：

使用教科書：（ MOUSA 1 （補助教材） MUSIC NOTE ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術の各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標： 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさ自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	<p>◆発声練習と楽典◆ 【知識及び技能】・楽譜の読み書きに必要な、音符や記号などに関する事項を理解させる。・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもてるようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・オリエンテーション ・ヴォイス・トレーニング（発声） ・楽典（基本的な音楽記号など） ・翼をください ・自己評価&振り返り</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・楽譜の読み書きに必要な、音符や記号などに関する事項を理解している。・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>◆校歌の歌唱◆ 【知識及び技能】・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもてるようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・校歌 ・歌詞の意味を理解して、イメージを持って歌う ・自己評価&振り返り</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>◆ギター弾き語り◆ 【知識及び技能】・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもてるようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・メリーさんの羊 ・夢の中へ ・自己評価&振り返り ・校歌、ギター弾き語りテスト</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
2 学 期	<p>◆オペラに親しむ◆ 【知識及び技能】・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解させる。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・古典派、オペラについて ・モーツァルト～アマデウスの鑑賞・ワークシート</p>			○	<p>【知識及び技能】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>				10
	<p>◆ミュージックベル合奏◆ 【知識及び技能】・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解させる。</p>	<p>・ミュージックベル合奏（グループに分かれる）</p>				<p>【知識及び技能】 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて</p>				

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 6組

教科担当者:

使用教科書: (MOUSA2 (補助教材) MUSIC NOTE)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術の各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標: 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽や音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさ自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創					
1 学 期	◆発声練習・歌唱◆ 【知識及び技能】楽譜の読み書きに必要な、音符や記号などに関する事項を理解させる。・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもてるようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組ませる。	・オリエンテーション ・ヴォイス・トレーニング(発声) ・コンコーネ1番 ・ハナミズキ ・上を向いて歩こう ・糸 ・涙そうそう ・自己評価&振り返り	○						6
	◆校歌の歌唱・楽典(音程およびコード理論)◆ 【知識及び技能】・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもたせる。【学びに向かう力、人間性等】・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組ませる。	・校歌・楽典(基本的な音楽記号など)、音程およびコード理論 ・自己評価&振り返り	○						8
	◆ギター弾き語り◆ 【知識及び技能】・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解させる。・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表せるようにする。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもたせる。【学びに向かう力、人間性等】・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組ませる。	・栄光の架橋 ・自己評価&振り返り ・校歌およびコンコーネ、ギター弾き語りテスト	○	○					8
2 学 期	◆交響曲に親しむ◆ 【知識及び技能】・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解させる。・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解させる。【思考力、判断力、表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くようにする。【学びに向かう力、人間性等】・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・西洋音楽史(古典派を中心に) ・ベートーヴェン~交響曲第九番【歓喜の歌】 ・ワークシート	○		○				10
	◆作曲をしてみよう◆ 【知識及び技能】・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解させる。	・小岩ソング作曲 ・担任ソング作曲(グループ活動)							

教科：芸術 科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：書 I（光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
ガイダンス 漢字の書 篆刻 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	・書道で学習すること ・書写から書道へ ・書写・書道の基本 ・用具・用材と扱い方 ・漢字の変遷と書体 ・篆書の基本 ・選文・検字、布字、運刀、完成まで				【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。				○	2
漢字の書 楷書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	・唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ・古典の臨書 ・古典を生かした創作 ・落款				【知識・技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。				○	10
硬筆、ペン字 【知識及び技能】 ・実技について、硬筆書写一般の技術及び知識をもって書けるようにする。 ・理論について、硬筆書写一般の知識・理解を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体について構想し工夫できるようにする。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。	硬筆書写の技術及び知識の習得と実践文字の正確性や美しさ、書式など ・速書き ・楷書と行書 ・漢字仮名交じり文 ・はがき ・揭示 ・漢字の部分の名称 ・筆順 ・草書を読む ・漢字の字体 副教材「硬筆書写技能検定3級のビデオ」使用				【知識・技能】 ・実技について、硬筆書写一般の技術及び知識をもって書いている。 ・理論について、硬筆書写一般の知識・理解を身に付けている。 【思考、判断、表現】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体について構想し工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書写能力の向上に向け、硬筆の学習				○	10

